



集落の高齢者が期待する念願のサロン実現に向けて一步前進。集まることの楽しさを実感。「協同の家」と命名された由緒ある公民館はみんなの拠り所。

■ 高齢者の生きがいをつくるサロンを作る。

- ・ 社会福祉協議会が普及を呼び掛けている「いきいきサロン」について集落として検討する。
⇒ 除雪の関係で冬期間公民館に集まるのが大変であれば誰かの家でサロンをやってみよう。

■ 集落を出て行った人がUターンしたくなる集落づくり。

- ・ 息子たちに「いつでも戻って来い」といえる生き方、暮らし方を身につける。
⇒ まずは、この集落から出ている人の数や外孫調査をやってみよう。

■ 認知症にはなりたくない！

- ・ 前の記憶を呼び起こし、頭をつかう習慣が大切。
⇒ 昔の写真を持ちより若き日の自分と集落を支えてきた人たちを思い出してみよう。

■ ついのすみかを元気に！

- ・ 住民同士はもちろん、他地域の方とも積極的に交流し集落の活性化を目指そう。
⇒ 親同士の交流が子供たちの婚姻にもつながることに期待。

■ 高齢のため来客に気の利いた料理が振る舞えない。(おばあちゃんをつぶやき)

- ⇒ 隣近所の名人からお裾分けしてもらい解決。